

環境活動レポート



エコアクション21
認証番号 0010888



有限会社 木内製作所

(対象期間:2023年3月1日~2024年2月28日)

発行日 2024年 4月 1日

目次

I.組織の概要、対象範囲	…	P1
II.環境方針	…	P2
III.環境目標	…	P3
IV.環境活動計画	…	P4
V.実施体制	…	P5
VI.環境目標の実績とその評価、並びに次年度の計画	…	P6
VII.環境活動計画の実績・取組結果とその評価	…	P7
VIII.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価、違反・訴訟の有無	…	P8
IX.代表者による全体の評価と見直し・指示	…	P9

I 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

有限会社 木内製作所

代表取締役社長 木内 典雄

2. 所在地

江間工場 静岡県伊豆の国市北江間1506-3

3. 環境管理責任者、事務局の氏名及び連絡先

環境管理責任者 木内 貴英 TEL 055-948-9081
事務局 手老 智明 FAX 055-948-9082
kiuchiss@royal.ocn.ne.jp

4. 事業活動

金属・樹脂・セラミックの切削加工

5. 事業規模

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)	59.8	81.1	84.3	98.4
従業員数(人)	10	10	11	14

6. 事業年度

3月1日～翌年2月28日

対象範囲

1. 認証・登録の対象範囲

活動: 全事業活動
組織: 全社

2. レポートの対象期間及び発行日

表紙に記載

環境方針

[企業理念]

有限会社木内製作所は、ステンレス等の金属切削加工を通じて、環境配慮の先進企業を目指すため、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で社会より信頼され社会に貢献できる企業であり続けるよう地球環境の保全に配慮し行動します。

[基本方針]

1. 環境目的及び目標を設定してその実現を図り、定期的に見直すことによって、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
2. 環境関連の法規制及び当社が受入れたその他の要求事項を遵守する。
3. 次項に対するパフォーマンスの改善を鋭意推進することによって、可能な限り無駄なコストの削減を目指し、汚染の予防を図る。
 - 1) 省エネルギー(電気、化石燃料の削減)
 - 2) 廃棄物の削減・リサイクル
 - 3) 節水
 - 4) 化学物質使用量の削減
 - 5) グリーン購入の推進
 - 6) 環境配慮製品の製造
4. 全社員活動を推進するために、環境方針を全社員に周知する。
5. この環境方針は、公開し、一般の人が入手可能となるよう準備する。

制定日 2015年 3月 1日
更新日 2023年 3月 1日

有限会社木内製作所
代表取締役社長 木内 典雄

Ⅲ 環境目標

短期・中期環境目標

項目	単位	基準値	目標値			
		2020	2021年度	2022年度	2023年度	
		(2020.3~2021.2)	(2021.3~2022.2)	(2022.3~2023.2)	(2023.3~2024.2)	
二酸化炭素排出量	Kg-CO ² /百万円	655	-1%	-2%	-3%	
			648	642	635	
	CO ₂ 量	39320	38927	38534	38140	
	電力	KWh /百万円	1249	-1%	-2%	-3%
				1237	1224	1212
	CO ₂ 量	KWh	74604	73858	73112	72366
			34467	34122	33778	33433
ガソリン	L /百万円	22.6	-1%	-2%	-3%	
			22	22	22	
CO ₂ 量		3130	3036	3067	3036	
産業廃棄物排出量	Kg	5150	-1%	-2%	-3%	
			5099	5047	4996	
水使用量 (本社)	m ³	274	-1%	-2%	-3%	
			271	269	266	
化学物質の適正管理	-	適正管理	適正管理			
新規品の工程不良率削減	%	0.26	-1%	-2%	-3%	
			0.26	0.25	0.25	
グリーン購入件数の拡大	件	20	19	20	22	

(注)

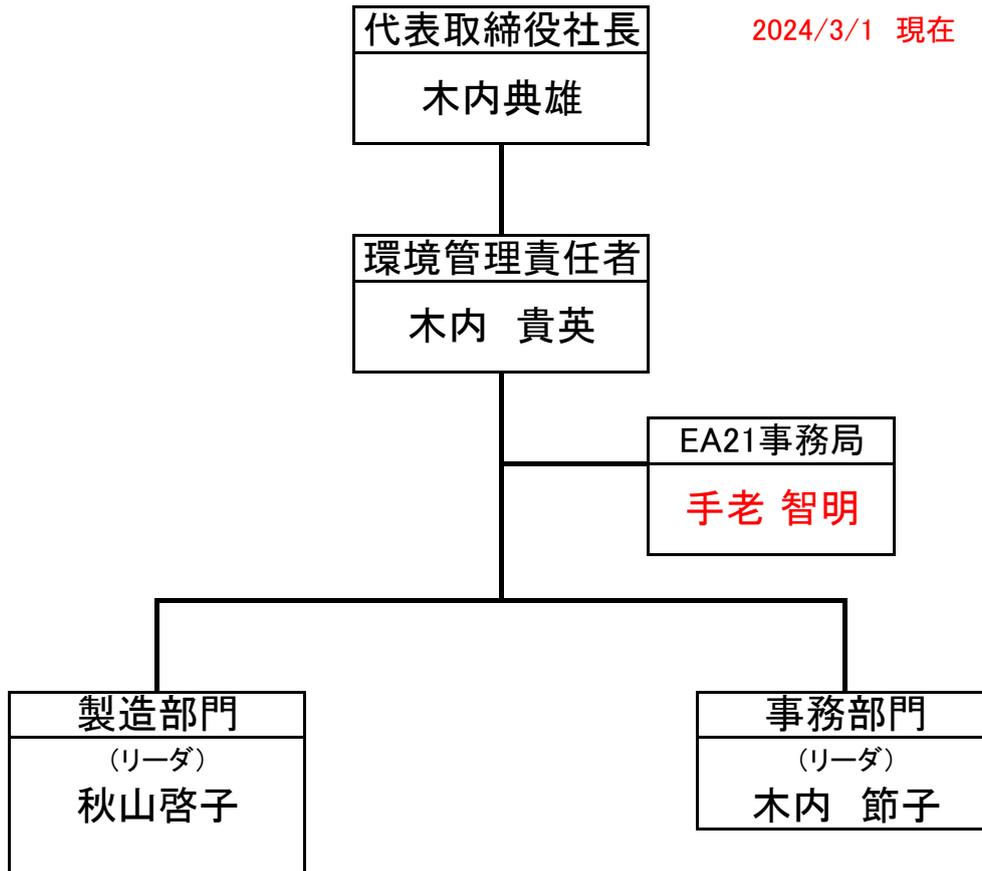
- 1) 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(2019年度)の「0.462Kg-CO²/KWh」を使用する。
原単位での削減目標設定としているため。
- 2) 二酸化炭素排出総量は、実績として集計する。
電力の排出係数は、前年の数値が出ていないので、東京電力エネルギーパートナーの前前年度を使用する。
- 3) 「化学物質使用量」の数値目標の設定は、量が少なく(40-60L/年)削減が困難のことから定性的な目標とする。

IV 2023年度 環境活動計画

承認 (管理責任者)	作成 (事務局)	P4
木内 木内(貴)	花澤	

環境目標 (2023年度の達成目標)	目標達成の手段 (到達目標)→	実施 担当者	3ヶ月毎 推進スケジュール(目標に対するプログラム)				年度評価	次年度の 活動
			3月~5月	6月~8月	9月~11月	12月~2月		
二酸化炭素の削減 目標:635Kg-CO2/百万円 ・電気使用量 目標:1212KWh/百万円	①コンプレッサー運転の効率化	責任者	←	←	←	←		
	②冷暖房の使用基準順守 (冷房:28℃、暖房:18℃)	責任者	←	←	←	←		
	③照明灯の昼休み時の消灯	責任者	←	←	←	←		
	④パソコンの帰宅時プラグOFF	担当者	←	←	←	←		
	二酸化炭素排出量(原単位)	CO2-Kg/百万円						
	電気量(原単位)	KWh/百万円						
・ガソリン使用量 目標:22L/百万円	①エコドライブの実践	担当者	←	←	←	←		
	②燃費の可視化 (2台)	責任者				←		
	③ルート配送の実践	担当者	←	←	←	←		
	④社有車のEV化	責任者	←	←	←	←		
	ガソリン使用量(原単位)	リットル/百万円						
産業廃棄物の削減 目標:4996Kg/年	①分別活動の継続	担当者	←	←	←	←		
	②切削油のロングラン化	責任者				←		
	③作業台の整理整頓	担当者	←	←	←	←		
	④工具、刃物の見える化	責任者			←	←		
	目標/排出量 各累計	トン						
水使用量の削減 目標:266m3/年	①節水活動ポスター貼り	責任者	←	←	←	←		
	②節水こまの検討	責任者			←	←		
	目標/使用量 各累計	m3						
化学物質の年度使用量の把握 目標:化学物質の適正管理	①MSDSによる労働安全管理	責任者	←	←	←	←		
	②化学物質購入量の把握	責任者	←	←	←	←		
	評価(評価日/担当)							
省エネ用部品の工程不良率削減 目標:0.25%以下	①機械始業前点検の徹底	担当者	←	←	←	←		
	②作業の標準化	責任者	←	←	←	←		
	工程不良率	責任者						
	評価(評価日/担当)							
グリーン購入件数の拡大 目標:20件以上	①Gマーク事務用品購入 (または、エコマーク)	担当者	←	←	←	←		
	②アスクルマークの活用	担当者	←	←	←	←		
	グリーン購入件数/累計	件						
	評価(評価日/担当)							

V 実施体制



<関係者の権限と役割>

社長

- ①環境経営全般に関する責任と権限
- ②環境経営に必要な資源の準備
- ③環境経営システム全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命
- ⑤経営における課題とチャンスを確認にする。

環境管理責任者

- ①環境経営システム全般の運用・管理
- ②環境目標及び環境活動計画の作成
- ③取組状況の社長への報告
- ④環境活動レポートの作成

EA21事務局

- ①環境負荷データ等の集計
- ②環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの管理
- ④環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤法規制の巡視状況チェック
- ⑥文書・記録の管理

各部門リーダ

- ①部門の環境活動計画の実施
- ②部門の問題点把握と是正対策の実施
- ③部門の従業員教育

従業員

- ①自分の役割を守り、エコアクション21の活動を推進する。

VI 環境目標の実績

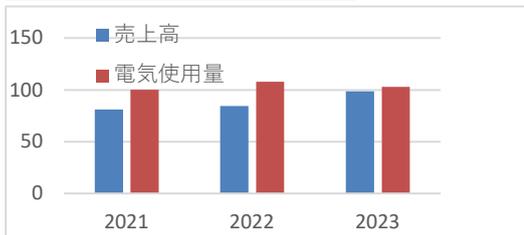
項目	単位	基準値 2020年度	目標値 2023年度	実績値 2023年度	比率(%)	評価	
二酸化炭素排出量 (売上98百万円)	Kg-CO ² /百万円	655	635	545	-14.2%	○	
CO2量	Kg-CO2	係数0.530	--	(-3.0)	/	/	
	Kg-CO2	係数0.472	--	--	/	/	
電力	原単位	KWh /百万円	1254	1229	1258	2.4%	×
	使用量	KWH	--	(-2.0)	--	/	/
	CO2量	Kg-CO2	係数0.530	--	--	/	/
ガソリン	原単位	L /百万円	22.6	22.2	20.3	-8.6%	○
	使用量	L	1,349	(-2.0)	1,738	/	/
灯油	CO2量	Kg-CO2	--	--	--	/	/
	使用量	L	692	-	500	/	/
LPG	CO2排出	Kg-CO2	0	0	0	/	/
	使用量	Kg	0	0	0	/	/
産業廃棄物排出量	CO2排出	Kg-CO2	-	-	-	/	/
	使用量	Kg	5150	5050	3750	-25.7%	○
水使用量	m ³	271	265	151	-43.0%	○	
化学物質使用量	--	適正管理	適正管理	適正管理		○	
省エネ用部品の工程不良率削減	%	0.19	0.19	0.1	-47.4%	○	
グリーン購入件数	件数	17	20	23	35.3	○	

<評価>

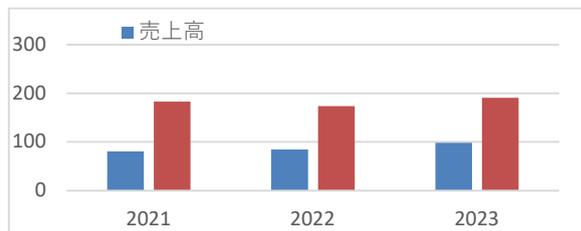
電気使用量	原因	仕事量の増加と温暖化での空調使用過多が原因である。
	是正	計画通り、省エネに努めていく。

2. 売上高百万円に対する二酸化炭素排出量、ガソリン使用量は、売上高が好調であったことが目標値達成の大きな要因といえる。

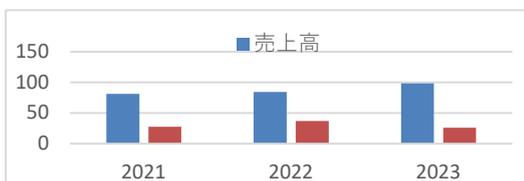
年度	売上高 (百万円)	電気使用量 (1/1000)KWH
2021	81.1	100.3
2022	84.3	108
2023	98.4	103



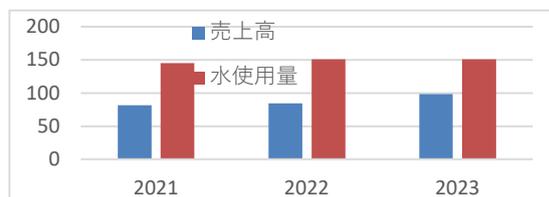
年度	売上高 (百万円)	ガソリン使用量 (1/10)L
2021	81.1	183
2022	84.3	173.8
2023	98.4	191



年度	売上高 (百万円)	産廃排出量 (1/100)t
2021	81.1	28
2022	84.3	37
2023	98.4	26



年度	売上高 (百万円)	水使用量 (m3)
2021	81.1	145
2022	84.3	151
2023	98.4	151



VII 2023年度 環境計画実績

承認 (管理責任者)	作成 P7 (事務局)
木内 本内(責)	花澤 手老

環境目標 (2023年度の達成目標)	目標達成の手段 (到達目標)→	実施 担当者	3ヶ月毎 推進スケジュール(目標に対するプログラム)				年度評価	次年度の活動
			3月~5月 準備 削減活動開始	6月~8月 削減活動	9月~11月 削減活動	12月~2月 削減活動		
二酸化炭素の削減 目標: 635Kg-CO2/百万円 ・電気使用量 目標: 1212KWh/百万円	①コンプレッサー運転の効率化	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②冷暖房の使用基準順守 (冷房: 28°C、暖房: 18°C)	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	③照明灯の昼休み時の消灯	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	④パソコンの帰宅時プラグOFF	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	二酸化炭素排出量(原単位)	CO2-Kg/百万円	545				○	
	電気量(原単位)	KWH/百万円	1258				×	
	評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続
ガソリン使用量 目標: 22L/百万円	①エコドライブの実践	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②燃費の可視化 (2台)	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	③ルート配送の実践	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	④社有車のEV化	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	ガソリン使用量(原単位)	リットル/百万円	20				○	
	評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続
産業廃棄物の削減 目標: 4996Kg/年	①分別活動の継続	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②切削油のロングラン化	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	③作業台の整理整頓	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	④工具、刃物の見える化	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	目標/排出量 各累計	Kg	3750				○	
	評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続
水使用量の削減 目標: 266m3/年	①節水活動ポスター貼り	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②節水こまの検討	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	目標/使用量 各累計	m3	47				○	
評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続	
化学物質の年度使用量の把握 目標: 化学物質の適正管理	①MSDSによる労働安全管理	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②化学物質購入量の把握	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	評価 (評価日/担当)	m3	○	4月1日	手老		○	継続
省エネ用品の工程不良率 目標: 0.25%以下	①機械始業前点検の徹底	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②作業の標準化	責任者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	工程不良率	責任者	0.03%	0.03%	0.02%	0.07%	○	継続
	評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続
グリーン購入件数の拡大 目標: 20件以上	①Gマーク事務用品購入 (または、エコマーク)	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	②アスクルマークの活用	担当者	<----->	<----->	<----->	<----->	○	継続
	グリーン購入件数		7	4	7	5	○	継続
	評価 (評価日/担当)		○	4月1日	手老		○	継続

Ⅷ 環境関連法規の遵守状況

評価者 (管理責任者)	作成 (環境事務局)
木内(貴)	花澤 手老

1.1 遵守の状況 遵守:○印, 該当せず △ 非遵守:× 印とする。 作成日:2024年04月01日

法規制等の名称	条項	規制概要	適用詳細	年度順法状況確認	順法評価
騒音規制法 (静岡県条例)	5条	規制基準の遵守義務(第2種区域)	空気圧縮機3.7Kw		
			昼間55dB, 朝・夕50dBの遵守		○
振動規制法 (静岡県条例)			空気圧縮機3.7Kw		△
家電リサイクル法	6条	特定家庭用機器のリサイクル (テレビ, 電気冷蔵庫, 電気洗濯機, エアコン)	廃棄時, 有料にて適切な引渡し	該当無し	△
フロン排出抑制法	14条	事業者の責務	特定製品のフロン類の適正処理 (家庭用)	該当無し	△
自動車リサイクル法	8条	自動車所有者の責務	使用済自動車の業者への引渡し	該当無し	△
PRTR法			量の管理		△
廃棄物処理法	12条	産業廃棄物の保管基準	飛散, 流出, 地下浸透の防止	実施	○
			保管場所に掲示板(60×60cm以上)	実施	○
	産業廃棄物の委託基準 産業廃棄物管理票	管理票(マニフェスト)の交付	実施	○	
		運搬受託者→10日以内に受領(B2票)	実施	○	
		処分終了後90日以内に回収(D票)	実施	○	
		最終処分後180日以内に回収(E票)	実施	○	
		管理票交付実績の県知事への報告	実施	○	
消防法	10条	危険物の貯蔵	危険物を指定数量以上貯蔵	指定数量の1/5以下	○
		貯蔵・取扱い	貯蔵・取扱い・施設の基準遵守	実施	○
浄化槽法	11条	法定検査の実施	水質検査7項目	実施	○
	8条	保守点検の実施	年1回の保守点検, 清掃の実施	実施	○
伊豆の国2市条例	—	一般廃棄物の排出	(自治会の承認)	実施	○

1. 環境関連法規制等の最新の確認

2. 違反、訴訟の有無 期間「2023年3月1日から2024年2月28日」

- ①環境関連法規等への違反、訴訟等はありませんでした。
- ②関係機関からの指摘及び近所・外部からの苦情等はありませんでした。

Ⅸ. 経営者による全体の評価と見直し、指示

(議事録)

1. 実施日 : 2024年03月13日 : 11:00~11:30、
2. 実施場所 : 事務所
3. 出席者 社長、環境管理責任者、木内(貴)リーダ、秋山リーダ、手老事務局
4. 議事事項 *今回は、コロナ禍により三密を避けるために会議は行わず議事要旨の配布のみとした。(社長指示、専務のコメントをもらい)

区分	全体の評価
審査結果	・2023年09月25日に現地審査が実施され、ガイドラインに適合の判定であった。
苦情、外部コミュニケーション	・苦情なし。
環境パフォーマンス	・2023年度の環境コスト(量、費用)を月別に集約した。 ・2021年度、2022年度、2023年度の資源の利用をグラフに示し比較できるようにした。
環境目標/計画の達成状況	・二酸化炭素の削減(売上100万当たり)、ガソリン使用量(売上100万当たり)、産業廃棄物の削減(売上100万当たり)、水使用量、新規品の工程不良率、Gマーク品の購入、化学物質の適正管理 以上8項目中、7項目は達成したが、電気のみ未達成。
是正処置/予防処置の状況	・特になし。
環境法規制等	・2024年6月27日、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」を遅れ提出した。 ・2023年09月06日の浄化槽の法定検査結果(11条検査は適性の評価であった。(江間))
改善のための提案	・今まで廃プラの廃棄はある程度貯めてから自社での持ち込みをしていた、産廃業者(石井産業)へ産廃BOXを依頼し回収してもらいたい。

見直し	指示事項	指示事項の処置			
環境方針	・工具等の置き場所を決めて、表示を行い、使用後はもとの場所に戻すことを、徹底すること。 2024年 3月 13日(社長)	・社長の指示に基づき、推進する。			
要・ <input checked="" type="radio"/> 不要					
目標・計画					
要・ <input checked="" type="radio"/> 不要					
実施体制					
要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	<table border="1"> <tr> <td>実施日</td> <td>3月13日</td> </tr> <tr> <td>管理責任者</td> <td>木内(貴)</td> </tr> </table>	実施日	3月13日	管理責任者	木内(貴)
実施日	3月13日				
管理責任者	木内(貴)				